



伊那市議会6月定例会では9議案と請願・陳情5件、議員提出議案3件が提案され審議を行いました。今定例会に上程された議案と請願・陳情を紹介します。

## 全会一致で可決した議案など

### (報告案件)

- ◆**専決処分の承認を求めることについて**(横山バイクパーク施設条例の一部改正(地番の変更)について承認しました。)

### (人事案件)

- ◆**副市長の選任**(伊藤徹氏の副市長の選任について同意しました。)

### (条例案件)

- ◆**福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例**(支給対象範囲の拡大について可決しました。)
- ◆**山荘条例の一部を改正する条例**(馬の背ヒュッテを山荘に追加する改正を可決しました。)
- ◆**自動車運送事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例**(駐車場事業を規定する改正を可決しました。)
- ◆**自動車運送事業駐車場条例**(駐車場事業について、使用料などの必要事項を制定する条例を可決しました。)

### (令和4年度補正予算案件)

- ◆**一般会計、公有財産管理活用事業特別会計、下水道事業会計**  
(当初予算は骨格予算であったため、政策的な事業を肉付けする補正予算や新型コロナの感染拡大対策、プレミアム商品券の発行などの補正予算を可決しました。)

### (請願・陳情)

- ◆**インボイス制度(適格請求書等保存方式)の農業・農村における影響を緩和する措置を求める陳情**(採択)
- ◆**水田活用の直接支払交付金見直しに関する陳情**(採択)
- ◆**「水田活用の直接支払交付金」の見直しを中止し、すべての農家経営への支援策強化を求める陳情**(採択)
- ◆**「さらなる少人数学級推進と教育予算の増額」「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める請願書**(採択)

### (議員提出議案)

- ◆**インボイス制度(適格請求書等保存方式)の農業・農村における影響を緩和する措置を求める意見書の提出**  
(インボイス発行に特例を設けるなどの措置を求める意見書の提出について、可決しました。)
- ◆**水田活用の直接支払交付金の見直しの中止等を求める意見書の提出**(交付金の見直しの中止と、すべての農家経営の安定を図るための支援策の充実を求める意見書の提出について、可決しました。)
- ◆**さらなる少人数学級推進と教育予算の増額及び義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書の提出**  
(さらなる少人数学級の推進と、教育予算の増額などを求める意見書の提出について、可決しました。)

## 賛否の分かれた議案など

請願・陳情を採択…○ 不採択…× 趣旨採択…☆  
(なお、原則として議長は採決に加わりません。)

区分	件名	委員会結果	池上謙	伊藤のり子	唐木拓	小池隆	篠塚みどり	高橋姿	高橋明星	三石佳代	湯澤武	吉田浩之	小林眞由美	田畑正敏	原一馬	三澤俊明	宮原英幸	二瓶裕史	野口輝雄	唐澤千明	飯島光豊	柳川広美	白鳥敏明(議長)	本会議結果
請願・陳情	◆森友改ざん問題、国会で真相究明を(陳情)	趣旨採択	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	○	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	○	○		趣旨採択

# 6月伊那市議会定例会

## 一般質問から

令和4年6月伊那市議会定例会の一般質問は、6月14日、15日、16日の3日間にわたって行われ、20人の議員が質問に立ちました。質問と答弁の主な内容をお知らせします。

唐澤 千明



## 運転免許証自主返納者の交通手段について

**問** 唐澤千明議員 ①ぐるっとタクシーが市街地も運行エリアに含むべきと望んでいるが、デジタルタクシーとして市街地を運行すると発表があった。ぐるっとタクシーとの違いは。②全国展開を見据えたぐるっとタクシーの今後の取組みについて考えを。

**答** 市長 ①デジタルタクシーは市街地の皆さんが利用でき、500円を超えた分を市の負担とする。②中山間地での移動手段として大切である。

多くの自治体のモデルとなるよう取り組んでいく。

## 伊那インター工業団地周辺の交通問題について

**問** 唐澤千明議員 ①通勤に吹上学校線を使わない大型農道からのアクセスが必要で、将来を見据えた中、団地から大型農道への一本道の道路建設を望むが考えを。②安心安全な地域づくりにも運転マナーの遵守を始めとした指導が必要で、行政の対応を望むが考えは。

**答** 市長 ①広域農道へのアクセスについては南箕輪村と引き続き協議を続けていきたい。②団地内企業に交通法規の遵守と交通マナーの向上、社員教育の徹底をお願いする。

田畑 正敏



## 伊那市観光(株)管理の施設方針の明確化と対応について

**問** 田畑正敏議員 羽広荘西山亭の事業継続可否については早急に結論を出す時期だと思ふが。

**答** 市長 築46年を経過し老朽化しており、耐震化も含めこれ以上の投資をしていくことは困難である。大きな決断をする時期と考え、早急に方向性を出していきたい。

**問** 田畑正敏議員 高遠さくらホテルを伊那市の観光拠点と位置付け、思い切って全面改修したらどうか。

**答** 市長 さくらホテルは立地条件が大変良く今後においても期待できる。施設の整備、必要な改修をきちんと行うことが求められている。

## ぐるっとタクシーの更なる利便性向上について

**問** 田畑正敏議員 現在、午前9時から午後3時まで

となっている運行時間の延長及び土曜日運行の可能性はどうか。

**答** 市長 一般タクシー営業への影響など、交通事業者の理解と協力が得られないと実現できない。

**問** 田畑正敏議員 ぐるっとタクシー利用者の資格要件の見直しはできないか。

**答** 市長 ぐるっとタクシーは、あくまで公共交通の位置付けであり、移動支援が必要な皆さんに利用してもらうのが前提である。

篠塚 みどり



## ママヘルプサービス利用へ

**問** 篠塚みどり議員 ママヘルプサービスの利用に電子申請の導入は。課題は。

**答** 市長 個別対応の支援のため、電子申請は考えていない。

## 保育園での使用済みおむつの持ち帰り廃止について

**問** 篠塚みどり議員 保護者や保育士の負担軽減、

衛生対策に、おむつ持ち帰りゼロへ。

**答** 市長 本年度中に持ち帰り廃止を実施するように進めたい。

## 母子手帳デジタル化への移行について

**問** 篠塚みどり議員 子供の成育記録をどんな時でも入力でき、家族で共有できる母子手帳デジタル化(アプリ導入)について。

**答** 市長 子育て支援全般を支援できるアプリの導入を検討したい。

## 保育士における処遇改善について

**問** 篠塚みどり議員 雇用、賃金格差、労働力軽減について。

**答** 市長 保育の充実安全のため人数を確保しているが、余裕のある状態ではない。会計年度任用職員II種の賃金を昨年3%改定した。ICTシステムを10月から運用予定。保護者アプリや保育士のタブレット端末利用により、時間外勤務の削減を考えている。

### 高齢者の孤独孤立対策について

**問** 篠塚みどり議員 地域見守り活動について、元気な方何人かで「励まし隊」となり、一人一人に声掛けすることが健康延伸につながるのでは。

**答** 市長 生活支援サポートによる地域見守り隊的な活動ができれば良いと考える。地域ケア会議でも提案していきたい。



### 愛郷心を育む、伊那市の歌の普及について

**問** 唐木拓議員 伊那市の歌を覚えることは、将来伊那市を離れたとしても伊那市のことを思い出すきっかけになる。毎日、夕刻に防災無線で流れているメロディーのみの伊那市の歌であるが、歌詞入りに変更してはどうか。毎日、聞いていれば一番だけでも覚えると思う。

**答** 市長 屋外スピーカーでは、谷間でのこだまや音

ずれの発生が心配されるため、実施の予定は今のところない。

### 空き家対策、不動産の流通促進について

**問** 唐木拓議員 全国的に問題となっている空き家問題について取引を活性化させるために、400万円以下の少額不動産の取引において不動産仲介会社への買主側の仲介手数料が少額であることから、仲介会社への収入が18万円(プラス消費税)になるよう促進費を支援するの

**答** 市長 空き家対策全般に關して他の自治体の動向も参考にしながら検討していきたい。



### 小中学校体育館の照明・エアコンについて

**問** 二瓶裕史議員 ①小中学校の体育館は重要な避難施設でもある。照明のLED化を前倒しで実施しては。②災害級の猛暑といわれる夏が毎年のように続いている。暑さ対策として

エアコンや大型スポットクーラーを設置することができないか。

**答** 教育長 ②熱中症の危険を避ける対応をしている。

**教育次長** ①行事計画との関係で計画外の工事をすることは難しい。

**危機管理監** ②体育館が暑いときにはエアコンを設置している教室を避難所とすることを考えている。

### 学校給食費の補助について

**問** 二瓶裕史議員 ①燃料や食材費の高騰により影響を受ける納入業者への補助がでないか。②貧困家庭の支援のみならず移住定住の観点からも、給食費の無償化を検討しては。

**答** 市長 ②やるのであれば、保育園からだろうと思っ

**教育次長** ①現在、特別な情勢である。他市町村の動きも見ながら、今後検討していきたい。



### 三石佳代



### 民生児童委員の活動費について

**問** 三石佳代議員 政策の柱は福祉であるが、地域福祉を支える民生児童委員の活動費

**答** 市長 民生児童委員が、地域福祉のために大変な仕事をしていることや、担い手が見つからずに同じ方が何期も続けている地区があることは承知している。現在の活動費は、今後の状況に応じて見直すことも考えられるが、19市中7番目の額であり、低い水準ではない。担い手不足は活動費が主な原因ではなく、業務の内容が大変であるからだと考えており、負担を軽減していきたい。

**問** 三石佳代議員 委員の負担は、いつ頃軽減するのか。

**答** 保健福祉部長 配布物を郵送に切り替えるなど既に実施しているものもある。

**問** 三石佳代議員 人の温もりに代わるものはない。福祉制度と市民をつなぐ架け橋として委員は欠かせない存在。4年前に議員報酬を増額したことを考えると、議員報酬を減らして民生児童委員活動費の増額をすべき。

**答** 市長 議員報酬については、議員間で話していきたい。

### 野口輝雄



### 第4弾のプレミアム商品券はプレミアム率を高くして発行を

**問** 野口輝雄議員 プレミアム商品券が売れ残らないように以下のように提案をする。①プレミアム率を35%→40%にして欲しい。②利用期間を年末に使えるように12月末までにして欲しい。③使い残し券の救済措置を。

**答** 市長 ①前回の申込状況等を踏まえ、今回も30%が適正と判断した。②消費が落ち

込む9月～11月の利用期間としたい。③利用期限内に使っていただくことにより事業者支援につなげていくものであり、理解いただきたい。

### より便利なくるとタクシーの運用と市街地デジタルタクシーの導入について

**野口輝雄議員** ①市街地の市民の利用形態をぐるっとタクシーにしなかった理由は何か、またその市民が周辺地域に行けない理由は何か。②ぐるっとタクシーの市外への利用を認め、また、支払いのキャッシュレス化を図って欲しい。

**市長** ①市街地の市民までぐるっとタクシーを利用すると、タクシー業界を圧迫することにもなり、また、予算の制限があるために、長距離になる周辺地域までは難しい。②一部市外地域までの利用は認めている。キャッシュレス化は今後進めていく。

### 伊藤のり子



### ヤングケアラーの現状と課題について

**伊藤のり子議員** ヤングケアラーの把握の方法は。

**答** 教育長 アンケート調査にヤングケアラーの内容を加えて実施する。県は、全小中学校対象に調査を予定している。

**伊藤のり子議員** 早期把握のための具体策は。

**答** 教育長 8月に全教職員対象の研修会を実施する。

**伊藤のり子議員** 相談機能を強化するための対応策は。

**答** 教育長 小学6年生に「SOSカード」を配布した。コーディネートを配置し、時にヘルパーを派遣する。周知を図る。

**伊藤のり子議員** 子どもによる介護なしの支援を。

**市長** 家庭状況にあったサービスの充実と、事業者への給付加算・市単の補助をする。

**「国道152号 荒町工区」工事中**

**伊藤のり子議員** 市としていつ頃の完成を目指すか。

**市長** 国や県に要望を挙げている。引き続き要望する。

**建設部長** 重要な幹線道路と認識している。

### 湯澤武



### 障がい者福祉政策の充実について

**湯澤武議員** 不登校、引きこもり、児童虐待、自殺、ヤングケアラー、医療的ケア児、多様な障がい等全ての子どもとその家庭を支えるため、関係者が包括的に連携し対応する、仮称「伊那市総合子ども支援センター」設置へ向けて、市長直轄で「支援センター準備会議」を市役所内に設置すべき。

**市長** 多様化・複雑化した子どもと家庭を取り巻く課題を解決するため、庁内の包括的な連携と協力が必要だ。社会福祉協議会や市内の福祉法人などの方々の意見も踏まえて進めていきたい。方向性は湯澤議員と同じと考えている。

**生活困窮世帯と子育て世帯支援について**

**湯澤武議員** 市独自の新生児特別応援給付金10万円について、継続を。

**市長** 令和2年から3年連続で10万円を届けて来た。コロナ対応の交付金が減少しても、対象者や金額など事業内容を検討し、引き続き応援していきたい。

**高橋明星**

**「伊那市体育施設条例」の見直しについての提案**

**高橋明星議員** 冬季の屋外体育施設の開場期間を延長するような条例見直しの考えは。

**市長** 全てのグラウンドを周年利用とすることは考えていないが、使用期間については、実際の気候や各グラウンドの状況なども踏まえ、今後も指定管理者と協議しながら、できる範囲で対応していきたい。

**陸上競技場の照明設置についての提案**

**高橋明星議員** 陸上競技場の全面改修を行ったが、照明設備が増設されなかった。照明を設置してもらえないか。

**市長** 陸上競技場の維持には多額の費用が見込まれる中で、照明は第2種公認の条件にもなっていないので、現時点で設置することは考えていない。

**部活動の時間短縮による影響をどのように考えるのか**

**高橋明星議員** ゴールデンエイジと呼ばれる成長著しい大切な時期に、部活動の時間が大幅に削減されたことに對してどのように考え、どうフォローされるのか。

**教育長** 伊那市立中学校部活動運営方針に基づき、スケジュールファーストの理念を具現化する取組みについて支援していく。

**小林眞由美**

**マイナンバーカードの普及促進と今後の取組みについて**

**小林眞由美議員** 市民の利便性を考えたマイナンバーカード取得を促す方策を。

**市長** 専門窓口の設置、平日夜間、休日、支所などへ

**市長** 陸上競技場の維持には多額の費用が見込まれる中で、照明は第2種公認の条件にもなっていないので、現時点で設置することは考えていない。

**部活動の時間短縮による影響をどのように考えるのか**

**高橋明星議員** ゴールデンエイジと呼ばれる成長著しい大切な時期に、部活動の時間が大幅に削減されたことに對してどのように考え、どうフォローされるのか。

**教育長** 伊那市立中学校部活動運営方針に基づき、スケジュールファーストの理念を具現化する取組みについて支援していく。

**小林眞由美**

**マイナンバーカードの普及促進と今後の取組みについて**

**小林眞由美議員** 市民の利便性を考えたマイナンバーカード取得を促す方策を。

**市長** 専門窓口の設置、平日夜間、休日、支所などへ

の出張受付など取得しやすい環境づくりを行っている。

**問** 小林眞由美議員 マイナンバーカードの交付時に渡される印鑑登録証の有効期限は、また、カードの交付方法に違いはあるのか。更新手続方法は、

**答** 市民生活部長 印鑑登録証は永久に有効。交付方法は、対面申請した場合は郵送、対面以外で申請した場合は来庁交付となる。更新専用機器設置の市役所専門窓口のみで更新手続ができるが、今後は総合支所などに更新専用機器を設置していきたい。

**問** 小池隆議員 マイナンバーカードの普及促進策は、

**答** 市長 企業が、病院、学校、商業施設での申請を可能にするなどあらゆる手段を考え、カード取得希望者の申請機会を高めしていきたい。デジタル機器の

操作サポート、伊那市独自のQOカード交付や自治体独自の機能付けなどは、国の政策を確認し検討する。

小池 隆



**高齢者、障害のある方等における交通手段の充実・拡充について**

**問** 小池隆議員 ぐるっとタクシー及び市街地デジタルタクシーの運行日時について、土日、祝祭日も利用可とし、利用時間は、午後3時までを午後5時までに延長できないか。

**答** 市長 この事業は、地域のがあつて成立しており、極端に運行日時を増やすことは、慎重にすべきであり、できない。

**問** 小池隆議員 利用者の運行エリアについて、伊那市全域にできないか。

**答** 市長 このシステムは、万人の要望や要求を全て満足させるためのものではなく、不可能である。

**自転車通学区への無償スクールバス等の導入について**

**問** 小池隆議員 自転車通学区への無償スクールバス等の導入を。

**答** 教育次長 国による財政措置がない地区に対する運行は難しい。

**問** 小池隆議員 小中高生を対象とした財政措置がある乗り合いスクールバス等の導入はできないか。

**答** 教育次長 多くの本数のバスが必要となり、市の負担が大きく、現実的に不可能である。

原 一馬



**少子化人口減少・移住定住における農振地域の土地利用、空き家について**

**問** 原一馬議員 農振地域を住宅地に利用する誘導地域の選定について。

**答** 市長 伊那市宅地整備推進事業の「適正な土地利用の誘導地域」として、住環境

が良いために既に宅地化が進んでいる地域を選定、周囲の優良農地へ住宅地がにじみ出ないよう指定した。

**建設部長** 伊那市の各支所、小中学校、保育園等、地域振興上必要な施設が集中して住宅需要の見込まれる地域、田舎暮らしモデル地区などを選定した。

**問** 原一馬議員 移住希望者が増えた伊那小学校区の空き家を、住宅用地として確保、また、空き家問題の解消を目的として、固定資産税などの減免、建物取壊費用を厚く補助する提案について。

**答** 市長 固定資産税などは、地方税法等に則って課税されるので、市独自の変更は難しい。空き家取壊補助は、他の自治体を参考に研究していく。

**みはらしファームにサテライトオフィス、コワーキングスペースを設置する提案について**

**問** 原馬議員 時代のニーズに合った施設を設置を。

**答** 市長 現時点で施設の設定置までは考えていないが、南アルプスの大パノラマの眺望、様々な施設が整っており、伊那

インターからも近く、ワーケーションなど新しい働き方の拠点として可能性はある。

高橋 姿



**障害者とその家族、福祉職員を支える制度の見直し**

**問** 高橋姿議員 伊那の財政が健全化された今、単価などを見直し、移動支援事業を持続可能な形へ転換できるか。

**答** 市長 上伊那8市町村で協議しながら、移動支援事業の単価の見直しも検討したい。

**問** 高橋姿議員 利用者の声を集め、柔軟性の高い通学支援や通勤などの現状にあった移動支援事業は可能か。

**答** 市長 通年かつ長期にわたる外出、通学についての取扱いについて、上伊那8市町村で協議をしたい。

**問** 高橋姿議員 伊那市の障害者とその家族が安心して暮らせる、親亡き後の将来的な支援の形は。

**答** 市長 障害があっても地域で自立した生活を希望する人が増えている。経済的支援、相談体制、緊急時の受入場所、短期入所、専門の人材養成を協議していく。

**問** 障害者が中心の農福連携について

**高橋姿議員** ①農福連携に取り組む法人への支援、農地の賃借、購入は可能か。②人農地プランへの位置づけについて。

**市長** ①障害者の得意分野を生かし、正当な対価を払う形が妥当。要件を満たせば、賃借、取得することができる。

②位置づけは可能。



吉田 浩之

**農地を維持保全するための取組みについて**

**問** 吉田浩之議員 農地の維持、保全についての考えと施策の進め方は。

**答** 市長 農業振興センターを中心に関係機関と連携し、集落営農法人や専業農家な

ど、担い手の育成、支援を進めていく。

**問** 吉田浩之議員 農業機械等導入補助について、今年度の額を継続されるよう要望するかどうか。

**答** 市長 多くの農家が求められており、ニーズを把握し必要に応じて予算措置をしていく。

**原油等高騰対策施設園芸事業の補助金について**

**問** 吉田浩之議員 原油等高騰対策の補助を今後も行っていく予定があるか。

**答** 市長 原油価格を注視し、必要な措置を講じていく。

**不登校児童生徒のための中間教室の取組みについて**

**問** 吉田浩之議員 中間教室に様々な分野の方に講師として入ってもらい学習したらどうか。

**答** 教育長 学校以外の方との関わりは大事な学びになるが、多様な子どもに寄り添うことも必要であるので、体制等も含め検討していきたい。

**問** 吉田浩之議員 リモートによる授業や社会人講師による授業を発信することを提案するかどうか。

**答** 教育長 技術的には可能だが、児童生徒とのつながりも大事であり、研究していきたい。



三澤 俊明

**一般家庭への電動式刈払機等の購入補助金制度について**

**問** 三澤俊明議員 最近のバッテリー充電式刈払機は、十分エンジン式と同等の能力を持ち合わせており、脱CO2も

さることながら、けたたましいエンジン音に恐怖を感じる、もしくは紐を引つ張るスターター方式に抵抗がある女性にも扱いやすく、まさにSDGsに取り組む伊那市としてはバッテリー式への切替促進にいち早く取り組むべきと考える。この際、購入補助金制度を導入したらどうか。

**答** 市長 充電式であることから電気が必要となるが、現在の日本の電力は化石燃料由来が主であり、グリーン電力とは言い切れない。軽井沢町で新たに補助金制度を始めたとのことなので、今後どのような注視

し、CO2削減に効果があれば、伊那市も導入を考えていく。



宮原 英幸

**伊那市50年の森林(もり)ビジョンの進捗について**

**問** 宮原英幸議員 住民の目に見える森林整備をしていく時期ではないか。

**答** 市長 支障木伐採等身近な森林整備には、森林税等を活用していく。生産森林組合林の整備、エリートツリーなど市民に見える林業を進めていく。

**問** 宮原英幸議員 産学官連携拠点施設の管理運営計画はどうか。

**答** 市長 農林業の多様な人材を全国から集め、全体統括人材も置き、3年くらいでの起業を想定している。一般のレンタルオフィスは別に案内する。ドローン関係事業者など現在約7社の入居希望がある。ドローンの活用推進助成は、今後検討の余地がある。指定管理など運営の方式なども検討したい。

**通院移送サービスについて**

**問** 宮原英幸議員 地区社会福祉協議会事業の通院移送ボランティアサービス「おのりな号」は今後も継続するのか。周知方法は。

**答** 市長 交通弱者対策として定数の利用者があり、継続する。運転ボランティア確保が課題で大きな広報はできないが、地域の顔が見える関係の中で、必要とする方の利用ができれば周知する。

飯島 光豊



**危険な通学路(道路)対策と自転車通学などの伊那市の対策について**

**問** 飯島光豊議員 ①市道の対策の進捗状況は。②春富中の生徒が市に提案した通学路の危険箇所や改善策は。③通学路両端のグリーンベルトや自転車走行指導帯、ハンパ等は。

**答** 市長 ③大成ロテックから話があれば、新たな方法も研究したい。  
**教育長** ②自ら自分たちの通学路を検証する取組みは、子ども

の学びとして大切であると考えて。  
**商工観光部長** ②木を切り、見通しを良くするなど、すぐに手を付けるべき危険箇所を絞り込めた。  
**建設部長** ①令和4年度に34か所着手する。

**障がい者ひとり親家庭の大人の受益者負担金500円の無料化について**

**問** 飯島光豊議員 ①福祉医療制度による障がい者ひとり親家庭の大人の負担金の無料化は。②国庫補助の減額措置について、やめるよう要望する考えは。

**答** 市長 ①状況を見ながら研究していく。②機会をとらえ、国へ要望していく。

**肥料・飼料などの値上がり**  
**と最悪の農業・食料危機**  
**について**

**問** 飯島光豊議員 肥料、飼料など高騰への支援、転作や農業・食料危機の考えは。

**答** 市長 国県ほか関係機関に要望したい。減反も考え直す時期にあると思う。

柳川 広美



**物価高騰対策に水道料金・下水道使用料の引き下げを**

**問** 柳川広美議員 物価高騰で市民や企業経営に大きな影響が出ている。水道料金・下水道使用料の引き下げを。

**答** 市長 給水人口減少などで収入減が見込まれる中、老朽管の布設替えや起債償還が必要である。値上げせず現状を維持する。

**学童クラブの過密な状況**  
**解決を**

**問** 柳川広美議員 伊那東、西箕輪、伊那、東春近小学童クラブは過密。学童専用の場所を確保すべき。

**答** 教育次長 伊那東小は学年スペースと体育館を使用。伊那小は体育館、図書館も使用。どの学校も基準は満たしている。

**新型コロナウイルス禍での子ども**  
**や高齢者の生活支援を**

**問** 柳川広美議員 コロナ禍で外出しない高齢者がいる。

フレイル予防調査を。公民館の卓球台、麻雀卓購入に補助を。保育士に透明マスクを。外でマスクをするリスクについて子どもに周知を。  
**答** 市長 日常生活アンケートにより、フレイル予防につなげていく。卓球台などの補助は難しい。透明マスクは場面に応じた活用を研究する。  
**教育次長** 国や県は、屋外でマスクを外すことを奨励している。



**三峰川総合開発事業の戸草ダム**  
**建設に向けての取組み**

**問** 池上謙議員 天竜川の支流の中で、最大の流域面積を持つ三峰川に、昭和34年に美和ダムが建設され、以来洪水災害等の軽減に大きく貢献してきた。しかし、南アルプスを源流とする三峰川は、地質がもろく脆弱なため、削られた土砂が流入し、ダム機能が危ぶまれている。そこで新たに流量調整機能を有する「戸草ダム」の建設が計画されたが、脱ダム宣言により、長野県が撤退し、本体建設工事が中断となつて

いる。最近の気候変動に伴い、多発する自然災害に対処するため、天竜川流域市町村は、戸草ダム建設を国・県に対して強く要望をすべきと思うが市長の考えは。  
**答** 市長 戸草ダムの問題は、「将来、社会経済情勢の変化に併せ建設時期を検討する」とされており、今がまさにその時期と思っている。最近では「流域治水」が叫ばれ、社会全体が防災意識をもって対処していかなければならない。したがって、国土交通省に限らず、多くの関係省庁に対して、上下伊那で構成する天竜川治水期成同盟会は勿論、諏訪圏域をも含めた関係市町村が連携して、建設要望活動を強力に進めて行きたいと思っている。

お知らせ

請願・陳情

請願・陳情は、定例会開会前に開催される議会運営委員会の前日正午までに提出されたものをその定例会で原則審査します。  
 提出いただいたきました請願・陳情は、定例会本会議で委員会へ付託し審査します。本会議での委員長報告後、採決します。

次回9月定例会審査の受理期限は、8月18日正午です。(期限は、変更となる場合もあります。議会事務局へご確認の上ご提出ください。)

傍聴にお越しください

市議会は、どなたでもお気軽に傍聴にすることができ、是非お越しください。

議会中継

議会中継は、伊那ケーブルテレビ「伊那市チャンネル」で放送しています。再放送も行っていますので是非ご覧ください。

水」が叫ばれ、社会全体が防災意識をもって対処していかなければならない。したがって、国土交通省に限らず、多くの関係省庁に対して、上下伊那で構成する天竜川治水期成同盟会は勿論、諏訪圏域をも含めた関係市町村が連携して、建設要望活動を強力に進めて行きたいと思っている。

チャンネルは次のとおり。  
**デジタル 11チャンネル**  
 STB(デジタルチューナー)でご覧になる場合は  
**デジタル C 511チャンネル**

QRコード

議員の写真下にあるQRコードを読み取ると、一般質問の動画が閲覧できます。ご利用ください。  
 \*「QRコード」は(株)デンソーウェーブの登録商標です。

次回9月定例会の詳しい放送予定は、「市報いな」9月号をご覧ください。



# 新体制で特別委員会決定!

4月の選挙後、初めての6月定例会で2つの特別委員会が決定・設置されました。各委員会の抱負、今後の活動についてお伝えします。

## 議会改革特別委員会

伊那市議会では、令和2年度から「議会改革特別委員会」を設置し、議会基本条例の見直しや、請願・陳情者の意見陳述の機会の創設、「予算・決算特別委員会」を設けての審査等、市民にわかりやすい、そして開かれた議会を目指し議会改革に取り組んできました。引き続き更なる議会改革を行います。

### キーワード1 「住民参加」

現在、市民との主な接点が「市民と議会との意見交換会」です。住民参加の機会を増やす方法として、「議会モニター制度」の創設を目指します。例えば「議会だよりモニター」、「議会傍聴モニター」等を創設したり、子どもや女性議会の開催、高校生の意見発表の場を設けて、市民の意見を広くお聞きする機会の創出と、議会への関心度を高める方法の調査・研究に取り組みます。

### キーワード2 「議会機能強化」

予算・決算特別委員会が設置され、議会のチェック機能は強化されましたが、市に対する政策提言が十分ではありません。特定所管事務調査を実施し、政策提言まで結び付けられる仕組み等についても調査・研究を行っていきます。

委員長 飯島 光豊

副委員長 唐木 拓

#### 委員

・小池 隆      ・高橋 姿      ・湯澤 武  
・吉田 浩之   ・田畑 正敏   ・三澤 俊明  
・宮原 英幸   ・二瓶 裕史

## 道路・戸草ダム問題等特別委員会

① 現状計画では、令和9年にはリニア中央新幹線や、三遠南信自動車道の開通が予定されています。また建設が進められている「伊那バイパス」や「環状北線」、「伊駒アルプスロード」など幹線道路網の整備により、近隣住民や市民生活に及ぼす効果や問題点について、調査・研究をしていきます。

② 戸草ダムについては、平成21年に策定された「天竜川水系河川整備計画」において「今後の社会・経済情勢等の変化に合わせ、建設時期を検討する」とされています。近年の異常気象を考えると、天竜川水系のリスク低減を図るためにも、上流ダムの治水能力の強化が必要であり、まさに戸草ダム建設が必要な変化が起こっているといわざるを得ません。天竜川流域関係自治体と連携し「戸草ダム」建設促進に向けての調査・研究を進めていきます。

③ ぐるっとタクシーが、市街地を除く市全域で運行され、本年8月からは、市街地内運行「市街地デジタルタクシー」の実証運行が開始されます。新たな公共交通が市民生活に及ぼす効果や問題点などについて、調査・研究を行っていきます。

委員長 原 一馬

副委員長 池上 謙

#### 委員

・伊藤 のり子   ・篠塚 みどり   ・高橋 明星  
・三石 佳代   ・小林 眞由美   ・唐澤 千明  
・柳川 広美



## 第6回 市民と議会との意見交換会開催!

～あなたの意見が伊那市を元気にする!～

昨年中止となってしまった意見交換会を、今年は開催します!  
どの会場も、グループになって懇談するワークショップ形式で行います。

### ～共通テーマ～ 「コロナ禍の教訓とこれからの伊那市」

8月10日(水曜日)

【各会場テーマ】

◆伊那公民館

「地域住民とのつながり」

◆美篤公民館

「防災対策について」

◆高遠町総合福祉センターやますそ

「防災対策について」

8月12日(金曜日)

【各会場テーマ】

◆西春近公民館

「地域住民とのつながり」

◆伊那西小学校

「人口減少時代と地域の活性化について」

◆伊那公民館

「153号バイパス開通後の地域づくりについて」

伊那市議会では、市民の皆さんに開かれた議会を目指して「第6回市民と議会との意見交換会」を行います。  
8月10日と12日に市内6会場で、共通テーマと各会場ごとのテーマを設けて開催します。

どの会場にもどなたでも参加ができますので、お気軽にご参加ください!



令和元年度の様子

《全会場共通》

事前の申し込みは不要です

受付 午後6時30分から

開始 午後7時から(午後9時終了予定)

お問い合わせ：伊那市議会事務局

TEL.0265-78-4111 (内線 2811～2813)



新型コロナウイルス感染症予防対策を実施しています!

- マスクの着用
- 受付での検温とアルコール消毒
- 体調の悪い方は参加を控える

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、公民館等が使用できない場合には中止となります。  
その場合は、公式ホームページや安心安全メール等でご連絡します。

御協力を  
お願いします



主催：伊那市議会